

2020 ウィンドサーフィン&SUP無料体験会開催

令和2年8月29日(土)・30日(日)、本年度のANAウィンドサーフィンワールドカップ横須賀・三浦大会がコロナ禍において中止となる中、地元でのマリンスポーツ普及に継続して取り組むことで大会の機運を来年につなげるため、地元NPO及びワールドカップ実行委員会と協力のうえ「2020ウィンドサーフィン&SUP無料体験会」(2回目)を開催しました。

当日は両日ともロンドンオリンピックウィンドサーフィン日本代表(東京オリンピック代表内定)須長由季選手も指導に参加いただき、好天に恵まれる中、たくさんのお子様連れを中心にマリンスポーツの魅力を体験いただきました。

■日時/場所：令和2年(2020年)8月29日・30日 / 横須賀市津久井浜海岸

■協力：NPO法人津久井浜マリンスポーツ連盟

ANAウィンドサーフィンワールドカップ横須賀・三浦大会実行委員会

■参加者：ウィンドサーフィン 37名(大人13名、小人24名)(内、市内在住30名)

SUP 36名(大人19名、小人17名)(内、市内在住32名)

■スタッフ：(一財)シティサポートよこすか 4名

NPO法人津久井浜マリンスポーツ連盟 12名



- 広報関係：<神奈川新聞 7月25日号掲載(事前)>
<タウンニュース 7月31日号掲載(事前)>
<神奈川新聞 8月30日号掲載(事後)>
<タウンニュース 9月4日号掲載(事後)>
<横須賀市広報協力(HP、すかりぶ、ツイッター、ガールーン)>

■参加者集計結果

参加者人数 73名

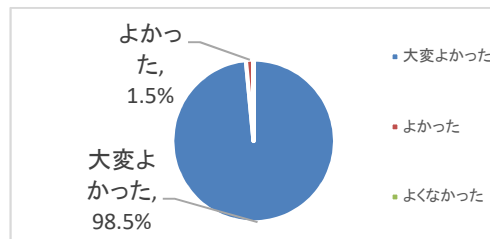
内訳

	WSF		SUP		計
	大人	小人	大人	小人	
市内	10	21	15	17	63
市外	3	3	4	0	10
計	13	24	19	17	73

■主なアンケート結果

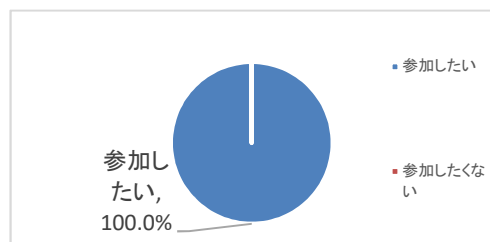
【この体験会に参加して良かったと思いますか】

	大変よかった	よかった	よくなかった	計
回答者数	65	1	0	66
割合	98.5%	1.5%	0.0%	100%



【次回、同様なイベントに参加したいですか】

	参加したい	参加したくない	計
回答者数	66	0	66
割合	100.0%	0.0%	100%



【主な感想】

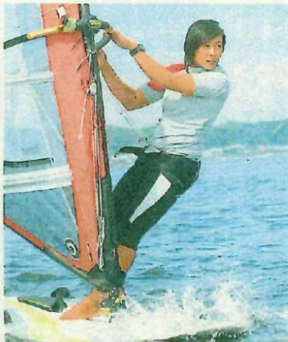
- まったくはじめての参加でしたが、指導もわかりやすいし、海の話も楽しく、沖まで連れていただきとても楽しかったです。プロ選手の皆様に会えたこともワクワクしました。
- スタッフの方々とても親切で楽しかったです。大学生のお姉さんも優しくかったです。ありがとうございました。
- マンツーマンで楽しかったです。休憩も考えてくれてシルバーにも優しくかったです。
- 大変疲れました。運営体制もよく、多くの方が気持ちよく楽しめる体験に感謝します。息子も「またやりたい」と何度も申ししており参加して良かったです。
- SUPを横須賀でできると知って体験に参加し、とても楽しめました。ありがとうございます！
- 楽しかった。時間がもっと長いほうがよかった。
- 挑戦してみたかったがきっかけがなかったことを体感し、新しい世界にふれることができました。ありがとうございました。
- 須長選手にマンツーマンで教えていただき幸運でした。難しいけど楽しかったです。
- たいへんたのしかった。ウィンドサーフィンならいたい。先生がやさしかった。
- 日頃眺めるだけだった地元の海辺にどのような風が吹いているか感じられて良かったです。須長選手はじめ、インストラクターの皆様もとても親切で大変貴重な経験をできました。
- 親子で参加し、たいへんよい思い出となりました。またぜひ参加したいです。ありがとうございました。
- SUPを買いたいと思いました。小回りが難しいけどコツを教えていただいて良かったです。
- いつもランニングしながら横目で見えてました。昨年に続き2回目でしたが、可能ならレベル別に分けていただけるとさらに楽しめると思います。次回また楽しみにしています。

海のスポーツ体験を

来月 須長選手の指導も

横須賀
 ウィンドサーフやSUPの無料体験会が8月29、30の両日、横須賀市の津久井浜海岸で開かれる。同市在住で東京五輪(セーリング女子)の日本代表に内定した須長由季選手(39)が参加し、海洋スポーツの魅力

を照らして行方不明者を捜索したり、上空から住民に避難を呼び掛ける音声を流したりすることもできるという。飛行は操縦者から5メートル程度離れた地点まで可能としている。(石本 健二)



須長選手(中央)が津久井浜海岸で練習する。8月29、30日に行われる無料体験会に参加する。

をレクチャーする。体験会は2017年から同海岸をメイン会場として行われるウィンドサーフィンのワールドカップ(W杯)の機運を高める狙いで始まった。19年からは一般財団法人「シティスポーツよす」が主催。NPO法人「津久井浜マリンスポーツ連盟」などが指導に協力している。

今年度のW杯は新型コロナウイルスの影響で中止となったが「来年へたすきを」つなぐと市内の公共施設管理の実績がある同財団が、感染症対策に万全を期すことを確認した上で実施を決めた。同海岸を練習場としてロンドン五輪などへの出場を果たしてきた須長選手も、企画への協力を快諾したという。

両日も午前10時から午後1時半からの2回開き、ウィンドサーフィンかSUPを選び体験する。定員は午前午後ともに各種目10人を上限とし、全体で80人を募集。参加資格は小学1年生以上で、未成年者は保護者の同意が必要。ライフジャケットなどの用具は無料で貸し出す。濡れやすいスニーカー、バスタオル、水筒、飲み物、マスクは各自で持参。

応募・問い合わせは同連盟046(840)1287。

(有吉 敏)

海に入ってボードを支えながら小学生にウィンドサーフィンを指導する須長選手(中央) =横須賀市の津久井浜海岸



須長選手へ応援の輪

セーリング 体験教室やCF寄付 日本代表

横須賀 東京五輪セーリング競技で日本代表に内定している須長由季選手が29日、地元横須賀市の津久井浜海岸で開かれたウィンドサーフィンの体験会で講師を務めた。五輪出場が決まった横須賀唯一の選手で、市体育協会(竹内英明会長)はクラウドファンディング(CF)で寄付を募るなど活躍をサポート。会場でも参加者から激励を受け、応援の輪が市内外に広がっている。

体験会は一般財団法人「シティスポーツよす」が主催。同海岸をメイン会場とするウィンドサーフィンのワールドカップ(W杯)のPRを兼ね開かれ、小学生の親子連れら約40人が参加。須長選手は大きな拍手に笑顔で応え、子どもたちによる「しく」と自己紹介した。海の中では、しっかりとボードを支えながら「そのバランス! その調子!」と子どもたちを指導。気持ちももともと上手にのせ、「地元の人たちの支えに本当に感謝している。しっかりと鍛え五輪を戦い抜きたい」と話していた。

CFは「須長さんの活躍で子どもたちに夢を与えよう」と始められ、目標額は150万円。合宿遠征費など強化費に充てるという。返礼品は直筆サインセット(3千円)、オンラインによるマンツーマンウィンドサーフィン講座(1万5千円)などで、10月16日まで実施する。

市体育協会のホームページから参加可能。問い合わせは、同協会事務局046(822)8493。

(有吉 敏)

ウインドサーフィン&SUP
風を感じよう

体験教室に五輪内定の須長選手

ウインドサーフィンとスタンドアップパドル(SUP)の無料体験会が8月29日(出・30日)の両日、ウインドサーフィンのワールドカップ会場となっている津久井浜海岸で開催される。スポーツと文化振興に取り組み一般社団法人シティサポートよこすかの主催。市民に広くマリンスポーツの魅力を感じてもらおう。初心者でも簡単に扱うことのできるセイル・ボードを使用して、インストラクターが丁寧に指



ウインドサーフィン

五輪選手とタンデムだ

津久井浜海岸で体験教室

地域のスポーツ・文化振興に取り組み一般社団法人シティサポートよこすか。は先月29日・30日の両日、ウインドサーフィンとスタンドアップパドル(SUP)の体験教室を開いた。市内を中



五輪出場内定の須長選手とセーリングを楽しむ参加者

心約80人が参加。2017年からウインドサーフィンのワールドカップが開催されている津久井浜海岸でインストラクターの指導を受けながらマリンスポーツに親しんだ。強烈な日差しが照り付ける晩夏の空。2日間とも初心者にも最適なゆるやかな南風が吹き、絶好のセーリング体験となった。海面も穏やかだったためSUPもすぐに立つことが出来、海上散歩を楽しんでいた。講師の1人として、ウインドサーフィン競技で東京五輪に出場が内定している田浦町在住の須長由季選手も参加。子どもたちとタンデムセーリングで沖に出るなかして、風を動力とするこのスポーツの魅力を伝えた。小学4年生の砂川絢音さんは「ボードの上でバランスを取ることが難しかったが、セイルに風を受けて走る感覚がわかった。また挑戦したい」と笑顔で話した。